

防衛大臣政務官

大野 敬太郎 様

国の施策等に関する
提案・要望書

(平成30年4月)

鳥 取 県

自衛隊航空機の安全確保について

《提案・要望の内容》

- 住民の安全安心の確保のため、自衛隊航空機の整備点検の徹底と、安全運航に万全を期すこと。
- 大型輸送ヘリコプターCH-47Jの配備により、大型災害への即応体制が整備されたことから、今後も周辺自治体と連携しながら、災害対応に協力をお願いしたい。
- 共用空港としての美保飛行場内の安全対策が図られるよう、陸上自衛隊、航空自衛隊双方が連携して、関係自治体への情報提供を行うこと。

- ※3月29日に美保飛行場に陸上自衛隊第13旅団所属UH-1が緊急着陸。滑走路を閉鎖し、民航機2便が欠航する影響が生じた。
- ※昨年6月の美保基地でのC-2輸送機の滑走路逸脱事故、美保分屯地配備と同機種のCH-47Jのカーゴドア落下事故等、相次ぐ事故により住民の自衛隊航空機への安全安心の信頼が懸念されている。
- ※3月27日、航空自衛隊美保基地内に陸上自衛隊美保分屯地が開設され、大型輸送ヘリコプターCH-47J（2機）が配備された。

<要望の説明・背景>

1 自衛隊航空機の整備点検、安全運航の徹底

- 30年2月5日に陸上自衛隊目達原駐屯地所属AH64D戦闘ヘリコプターが墜落し、付近の住宅が全焼。3月6日には、美保分屯地配備と同一機種である航空自衛隊那覇基地所属のCH-47Jの後部カーゴドアが落下するなど、近年、自衛隊機の墜落、部品落下等が相次いで発生しており、自衛隊機への安全・安心への信頼が懸念される状況となっている。
- 3月29日には美保飛行場に陸上自衛隊第13旅団所属のUH-1が緊急着陸し、滑走路を共有している民航機2便が欠航する多大な影響を生じさせたことは、誠に遺憾。
- 事案の原因究明が行われるとともに、全ての自衛隊航空機の整備点検の徹底及び安全運航には万全を期すようお願いする。

2 大型輸送ヘリコプターCH-47Jの災害対応への協力

- 大規模災害等への対応能力を高め、県民の安全確保のため、鳥取県が要望していた、大型輸送ヘリコプターCH-47J（2機）及び山林火災など大規模災害への対応資材（消火用バケツ2基）が3月27日に美保分屯地へ配備され、各種災害への即応体制への整備が図られたところ。
- CH-47Jは、配備後すぐに山林火災の消火活動に参加し、県民の安全確保に多大な貢献をいただいている。今後も周辺自治体と連携しながら、大規模災害への救援活動等の対応にご協力いただきたい。

3 共用空港としての美保飛行場の安全対策及び情報提供

- 航空自衛隊美保基地内に陸上自衛隊美保分屯地が配備されることから、緊急時の事故対応等、連絡体制が懸念される所。
- 住民への安全安心確保のため、共用空港としての美保飛行場内の安全対策を図り、航空自衛隊、陸上自衛隊双方が連携して、関係自治体への情報提供が行われるようお願いする。